

アリンコの三段階論文づくり

アリンコとは何か、その三段階による論文づくりです。
「とは」思考法をつかいつつ、三段階という発展のレベルをつくった論文です。

「三段階とは何か」

① 目くつー 目たとえー 目けいけん

② 概念ー 目表象ー 目感覚

③ 考えるー 目思うー 目感じる

右のゴトキ、質的相違の発展レベルで、対象を捉えよう
いきがたである。

「とは」思考法」

a 「人生とは何か」「看護とは何か」のような「...とは」と正面から、まっすぐなぶつかっかていく問い方のことである。思考法の一つのメンツドである。

b 言の切は訓練が、ゆらぎ。

c 肝心の点は、短く。

d つまみ本質は、的確に打ち出す。

e 五字以内であれば、最上。

f (若くとも、十文字以内におさめる)

「本質とは何か」

① 変化しないもの。

② その反対は、現象。

③ として中面は、構造。

d ③ 本質ー 目構造ー 目現象

e 別名。抽出物、純粋成分、神髄、真髄。

ところで、何故に、アリンコなんですか。

アリンコは、た水もが一滴、知っている昆虫だからです。

好き嫌いはあろうと、ないといふ人が、なんらかの経験を持っています。

巣穴に水を入れたとき、大きなびんを砂や土をつけて飼ったことがあるかと、というように。

そして、水をかくにあたっては、アリンコの体形が、他の昆虫類と違っていて、単純さがあり、かきやすいです。極端に短く、体が三つで脚が六本

であればよいのですから。ゲムタルトが、つまく進行しようといふこともい

しょう。

多分、アリンコの形・体形から生態・生活が、かきやすいと見えてくる

ともいえる利点があります。体の三つのスマートなくびれがあるため

に、自身のからだを自在に動かすことができるのはないかと、あこ

がぶらぶらだが、敵とたたかうにはつごうがいりとは、とゆうように

です。極端に、合点であることが、かくれまもることもいえます。

アリンコの実験をよく見ると思えば、構造的に、ヤレーヤロ

のびん、なひは手頃な多パーに入れると、かんたんに観察することが

できます。極端には、二匹でよいでしょう。穴合意には、砂などを入れた方が

よいです。観察がすめば、外に逃がしてやりましょう。

アリンコでなんでもよいですが、コロコロアリヤムネアオオアリがよい

とかがよいでしょう。とにかく働きアリもともとも大きいとすべから

ず。ほかに、かんとアリンコには、「蟻の熊野参り」「蟻の意うきぞ知

てい」「蟻の穴から見たうきす水」蟻の思ひも天

のぼつし等々のコトフザが、ゆんやとあるんです。

なお、学術的な知識は、理科関係の図鑑

や生物関係の本、あるいは日記虫草集などで

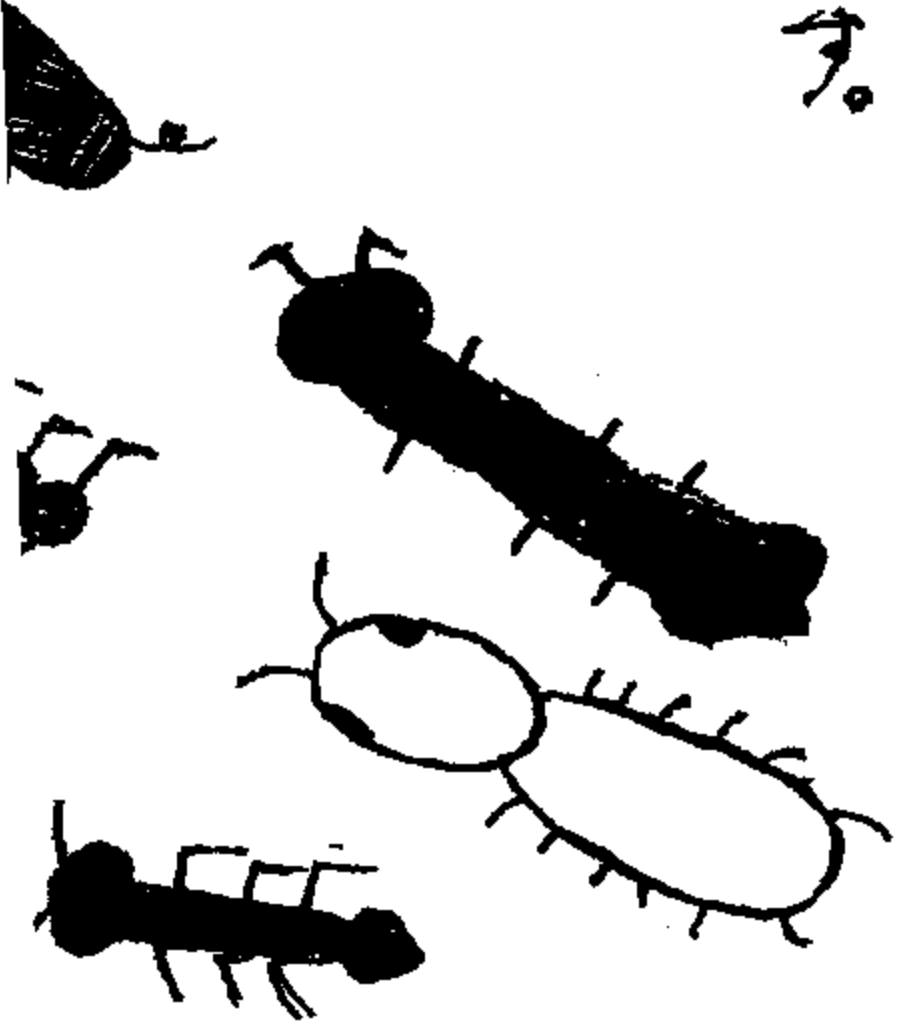
わりあい便利に拾うことができます。

アリンコの絵や図をかくには、認識が

前進しようは、「思ひなごかく」「見てかく」

2012.4.28
金研例会提出
(産研和)

[2012.5.11
ボテスなうぎ]



よいでしょう。

下に見える大群は、みなさんが、実物を「見ないで」アリンゴたちです。みんな「うまいですな。いろんなものが食べ合っていますね。おれもみな、アリンゴに見えますね。おれが、二つから三つになつて、流氷を見ますと、進化の推移をあらわしているように見えてきます。全員の集合が水ほじりのゴリヤアかなのよう。脚が二つあるものか、四つ六本になつていくアタも、かんが進化の歴史をものがたつていこうにも見えてきます。また、個性を出して、とにかく、面白いです。アリンゴ一匹が、妙に意匠味深く、興味がさそわれれます。この、面白いと見えるのが、いいですね。学習は、これでおこなはれませんか。

もう一つのこと。アリンゴの呼び名のことです。アリンゴ——「水・なんともい呼び名です。いなきがよく、かわいさもあります。そう、思いませんが。

アリンゴは、方言です。方言の一種です。昭和の初期頃まで、この日本にアリンゴの方言が、たくさんありました。その後、時代の文化や学術的お月の充実などにより、ほとんどは消えてしまいました。ごも、アリンゴ、アリンゴ、アリンゴなどは、まだ残っています。アリンゴアリンゴの意味は、ヤマゴ、フナゴ、カワゴ、ウツゴなどの「ゴ」といって、働き者だ、といわれています。そういえば、イヌゴフのアリ鏡もこれと似ていますね。中国の「蟻子」には、アリンゴへの尊敬の意

々々も、ゴがゴゴとがごきます。おれたちの方言は、昔の人たち、いわば手づくの日本語です。そういう日本語を、おれたちも新しくつくっていきたいものだと考えられています。みなさんは、どう思うでしょうか。

つい長くなってしまいましたが、以上のしたいが、

三段階論文づくりで、アリンゴを取上げのゆえんです。それをまた、論理学や認知科学の講義で、おれらの先生に実施していくのです。みなさんが体験しましたように、なぜでしょうか。

それは、アリンゴです。

アリンゴの三段階論文づくりの「ゴ」と一本で、「三段階演習理論」のありましお、アリンゴ体験することが、この

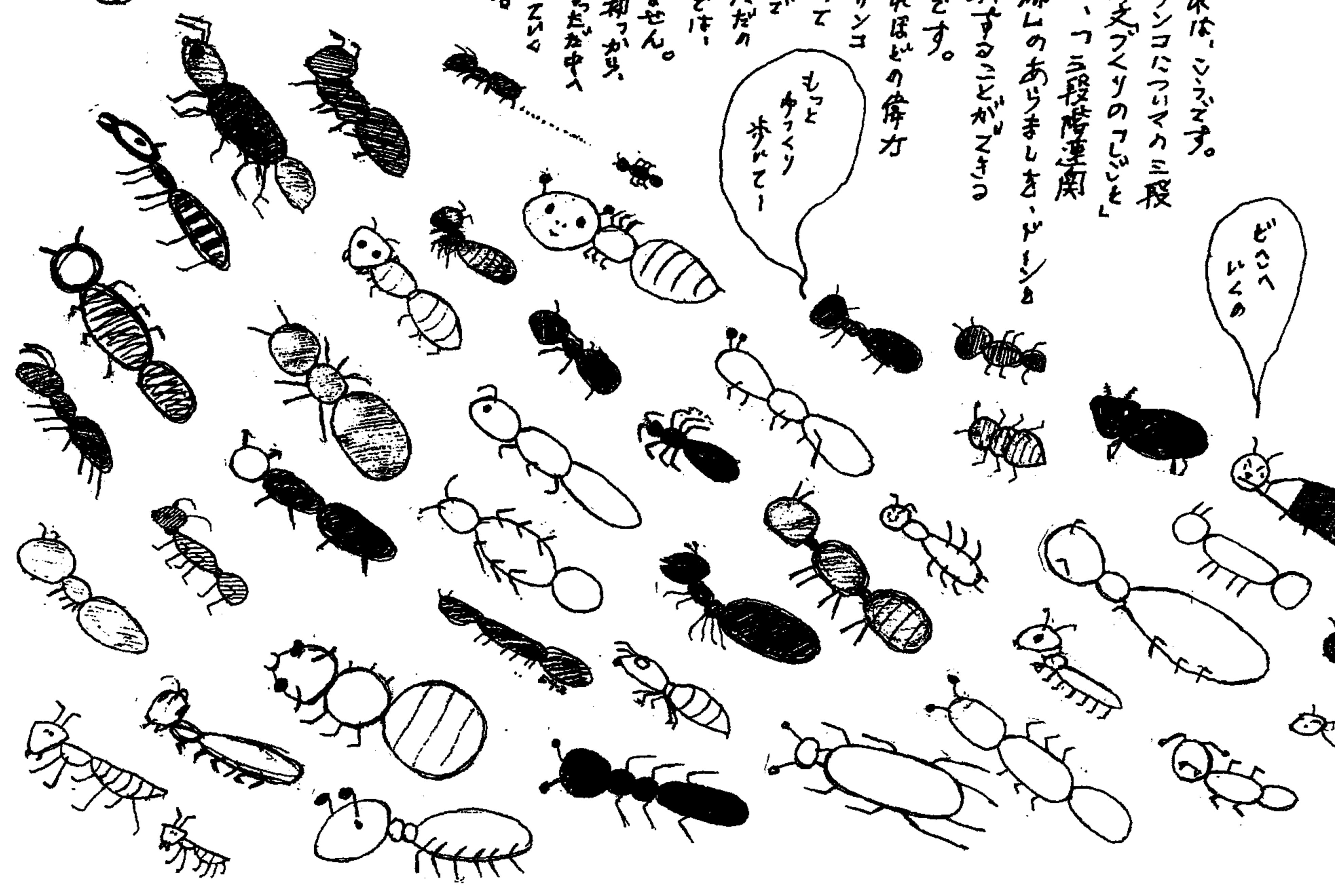
から、アリンゴ

は結構、いろいろ、あります。入門では、

最初は、おれたちの実入りの



おれたちの言葉、こころよー




アリンゴ

もっと、アリンゴ

2012. 4. 13 ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、地中に巣を作る昆虫である。
アリンコは働き者のイメージが強いが、
巣の中で全く働かないアリンコもいる。
割りとよく働くアリンコと、割りと働かないアリンコと、
割りと全く働かないアリンコと割れた。
たぶん、学校のクラスみたいだ。




- 経験には、アリンコをしばん玉液につけたことがある。
しばん玉で遊んでいる時にしばん液にアリンコが入ってしまい、酔っ払いのようになって死んでしまった。

結論 アリンコは色々な所に現れる。
感想 面白いです...

2012. 4. 13 ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、
とても働き者の小さな昆虫である。
女王アリのために、えさをとりにいったり
女王アリが産んだ卵を守ったり、とても
働き者の昆虫として知られている。




- たとえば、おせっかいな母親みたい。

- 経験には、
アリの巣を見つけたら、その穴を石で
ふさいだり、少し掘ったりしたこと
がある。その時、足をアリにかまれて
少し痛かった。

結論 女王アリのためによく働く昆虫である。
感想 アリンコについてあまり知らないことがわかった。

2012. 4. 13 ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、甘いものが好きで昆虫である。
アリンコの近くに石や糖などの甘いものを
降くと列をつくり、巣に持ちかえる。



- たとえば、ハチのようだ。


- 経験には、アリンコが地面を大きく歩
物を持って歩いていっているのを見たことがある。

系言論 死んでしまえば男や小枝も運んでいた。
アリンコは協力できる生き物だ。

感想 アリンコについて、さまざまな視点
から考えたい。

2012. 4. 13 ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、よく働く虫である。
集団で一つの巣に住み、一匹一匹
に役割があり、協力して生活を
する。人間から見ると弱い存在。
たとえば、会社員みたい。




- 経験には、
女王アリにかまれた。
集めて飼ったことがある。

結論 群れることで強い存在となる
虫である。
感想 楽しかった。

2012. 4. 13 ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、体は小さいがどの
生命体より働き者である。自分
より体の大きな存在にも仲間と共に
たむかう。




- たとえば、勇者みたい。

- 経験には、
公園でアリの巣に砂をかけて
埋めた。

結論 あんなにはいけぬ存在だ。
感想 アリのこと考えたのは小学生以来
でした。

2012. 4. 13 ポラリス っす
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、働き続けた生き物である。
アリンコは、仲間のために、エサを集め毎日
過ごす。大抵はとんでもなく、人間に
いじめられても、めげずに毎日、生きている。



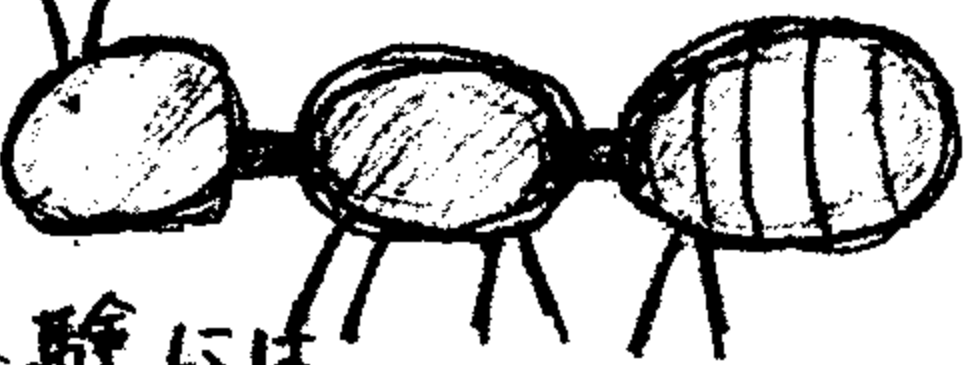
- たとえば、働くサラリーマンみたい。

- 経験には、アリの巣に、バケツで水を入
れたことがある。運動会などは必ず
シートの上に来が、ってきて、とても迷惑
したこともある。

結論 アリンコは頑張り者である。
感想 アリンコについて、今までの考え方を
とびきりかたがて、再認識する感じがした。

2012. 4. 13. ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、非常に小さい昆虫
である。
大木の足を持ち、土の中に
大きな巣をつくる。数が多い。
たとえば、

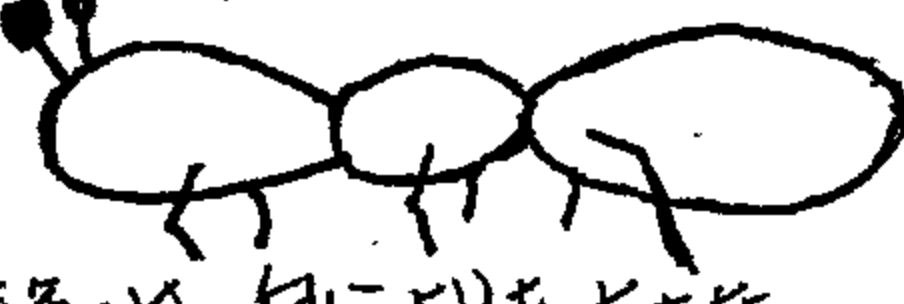


- 経験には、
アリンコの巣の入り口を砂で
塞いだことがある。

結論 小さい生物だが、大きな巣を
つくる能力とたくさん数がい
るため、絶滅せず生き残って
いる。
感想 絵にかいたり説明をするので、
アリンコについての理解が深まった。

2012. 4. 13 ポラリス
テーマ アリンコとは何か

- アリンコとは、上下関係が厳しい昆虫だ。
小さな生物だが、1匹づつ役割が
決まっている。トップの女王アリは会社
で言う社長のような存在である。




- たとえば、小さな騎団である。

- 経験には、自分で大きな
昆虫を1匹運ぶ姿を見たことがある。

結論 小さな生物の強い虫だ。
感想 アリンコは強いと改めて思った。

2012. 4. 13. ポラリス
テーマ アリンコとは何か?

- アリンコとは、黒い虫である。
小さいけれど、よく目立つ。
人間には、踏まれてしまう。



- たとえば、

- 経験には、
小さいころ、道でアリンコを
踏んでしまった経験がある。

結果 アリンコは、不思議な生き物だ。
感想 アリンコのことを知ることで、世界が広がった。